

AXIS S4000 Rack Recorder

拡張または新規設置用の1Uラックレコーダー

フレキシブルなこのレコーダーは、新規設置とストレージ拡張に対応します。監視用途向けのハードドライブを使用した3種類のストレージ構成により、データの確実な保存に必要なものすべてが含まれています。ビデオは保存時および送信時に暗号化され、複数のRAID設定が利用できます。AXIS OSを基盤として構築されており、高度なサイバーセキュリティを確保します。たとえば、FIPS 140-3レベル3認定済みの安全な暗号化キーの保管と操作も可能です。Axisネットワークスイッチおよびサードパーティ製スイッチと連携し、既存の内部ITポリシーに適合します。また、Axisのエンドツーエンドソリューションの一部であり、AXIS Camera Station EdgeおよびAXIS Camera Station Proと完全統合されています。

- > ITポリシーに適合
- > フレキシブルなストレージオプションとRAID
- > 設置、管理、メンテナンスが容易
- > AXIS OSのサイバーセキュリティを活用
- > 5年間のAxis保証



AXIS S4000 Rack Recorder

バリエーション

AXIS S4000 Rack Recorder 8 TB
AXIS S4000 Rack Recorder 16 TB
AXIS S4000 Rack Recorder 32 TB

ハードウェア

プロセッサ

i.MX 8QuadMax

ストレージ

ホットスワップ可能な監視クラスHDD

HDDスロット総数: 4

空きHDDスロット:

8TB

すぐに利用可能なストレージ: RAID 5以降の6 TB

RAIDがない状態ですぐに使用可能な容量: 8 TB (4x2 TB)

16TB

すぐに利用可能なストレージ: RAID 5以降の12 TB

RAIDがない状態ですぐに使用可能な容量: 16 TB (4x4 TB)

32TB

すぐに利用可能なストレージ: RAID 5以降の24 TB

RAIDがない状態ですぐに使用可能な容量: 32 TB (4x8 TB)

RAID

工場出荷時のRAIDレベル: 5

サポートされているRAIDレベル: 0、1、5、6、10

電源

100~240 V AC、50~60 Hz

消費電力

通常消費電力

8 TB: 27 W (92.1 BTU/h)

16 TB: 31 W (105.8 BTU/h)

32 TB: 36 W (122.8 BTU/h)

最大消費電力

8 TB: 30 W (102.4 BTU/h)

16 TB: 32 W (109.2 BTU/h)

32 TB: 37 W (126.2 BTU/h)

ノイズレベル

アイドル時: 22 dB

通常時: 35.5 dB (周囲温度時)

最大: 41 dB

コネクター

フロント側:

USB 3.0 x 1、対応USBクラス: Mass Storage

リア側:

AUX RJ45 1 Gbps x 1

LAN RJ45 1 Gbps x 1

LAN SFP 1 Gbps x 1

USB 2.0 x 1、対応USBクラス: Mass Storage

電源コネクター x 1

ビデオ

録画

最大16のビデオソースに対応、録画の合計ビットレートは最大256メガビット/秒

ビデオ圧縮

H.264 (MPEG-4 Part 10/AVC)、H.265 (MPEG-H Part 2/HEVC)

カメラのサポートに応じて

エンコーダ、デコーダ、トランスコードなし

解像度

すべてのカメラ解像度をサポート

フレームレート

すべてのカメラフレームレートをサポート

音声

音声ストリーミング

カメラのサポートに応じた単方向の音声録音

音声エンコーディング

AAC

カメラのサポートに応じて

ネットワーク

ネットワークプロトコル

IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS¹、HTTP/2、TLS¹、SFTP、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP[®]、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、NTP、NTS、RTSP、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、ICMP、DHCPv4/v6、ARP、SSH、LLDP、IEEE 802.1X (EAP-TLS)、IEEE 802.1AR

1. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eay@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース

VAPIX®、AXIS Camera Application Platform (ACAP) など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様についてはaxis.com/developer-communityを参照)。
ワンクリックによるクラウド接続

ビデオ管理システム

AXIS Camera Station Edge、AXIS Camera Station Pro、AXIS Camera Station 5、およびaxis.com/vmsで入手可能な一部のAxis/パートナー製ビデオ管理ソフトウェアに対応。

イベント条件

デバイスの状態: 動作温度範囲超過/動作温度範囲未満/動作温度範囲内、ファン故障、IPアドレスブロック/削除、ライブストリーム有効、ネットワーク接続断絶、新しいIPアドレス、システム準備完了
エッジストレージ: 録画中、ストレージの中断、ストレージの健全性に関する問題を検出
I/O: 手動トリガー、仮想入力が有効
RAIDステータス: RAIDデグレード状態/故障状態/オンライン状態/同期中
スケジュールおよび繰り返し: スケジュール

イベントアクション

LED: ステータスLEDを点滅、ルールがアクティブな間にステータスLEDを点滅
通知: HTTP、HTTPS、TCP、電子メール
セキュリティ: 設定の消去
SNMPトラップメッセージ: 送信、ルールがアクティブな間に送信

イベントトリガー

ハードドライブエラー、ハードドライブ温度の警告、CPU温度の警告、ファンのエラー、RAIDの警告

認証

製品のマーキング

UL/cUL、CE、VCCI、NOM、RCM

サプライチェーン

TAA準拠

EMC

EN 55035、EN 55032 Class A、EN 61000-3-2、EN 61000-3-3、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2
オーストラリア/ニュージーランド:
RCM AS/NZS CISPR 32 Class A
カナダ: ICES-3(A)/NMB-3(A)
日本: VCCI Class A
米国: FCC Part 15 Subpart B Class A

安全性

CAN/CSA-C22.2 No62368-1、
IEC/EN/UL 62368-1 ed.3、
RCM AS/NZS 62368.1:2018、NOM-019、IS 13252

環境

IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、
IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、
IEC/EN 60529 IP20

ネットワーク

NIST SP500-267

サイバーセキュリティ

ETSI EN 303 645、FIPS 140

サイバーセキュリティ

エッジセキュリティ

ソフトウェア: 署名付きOS、ダイジェスト認証、OAuth 2.0 RFC6749クライアントクレデンシャルフロー/OpenID認証コードフローによるADFSアカウント一元管理、パスワード保護、Axis暗号モジュール (FIPS 140-3レベル3)、システムオンチップセキュリティ (TEE)
ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム
安全なキーストア: セキュアエレメント (CC EAL 6+、FIPS 140-3 Level 3)
AxisデバイスID、セキュアブート、暗号化ファイルシステム (AES-XTS-Plain64 256bit)

ネットワークセキュリティ

IEEE 802.1X (EAP-TLS)²、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS²、TLS v1.2/v1.3²、Network Time Security (NTS)、X.509証明書PKI

文書化

AXIS OS/ハードニングガイド
Axis脆弱性管理ポリシー
Axisセキュリティ開発モデル
ドキュメントをダウンロードするには、axis.com/support/cybersecurity/resourcesにアクセスしてください。
Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、axis.com/cybersecurityにアクセスしてください。

概要

対応デバイス

ファームウェア5.50以降のAxisの装置
AXIS Companionミニカメラおよびサードパーティ製カメラはサポートされていません

2. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eyay@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

ケーシング
スチール製ケーシング
カラー：黒 NCS S 9000-N

フォームファクタ
1Uラック
EIA-310ラック対応

動作温度
温度:0℃～45℃ (32 ° F～113 ° F)
湿度:10～85% RH (結露不可)

保管条件
温度:-20 °C～65 °C
湿度5～95%RH(結露不可)

寸法
484 x 402 x 44.1 mm
レール最小深さ³: 398 mm (15.7 インチ)
製品設置深さ⁴: 377 mm (14.8 in)
レール調整 範囲⁵: 376～499 mm

重量
8 TB9.08 kg (20 lb)
16 TB9.22 kg(20.3 lb)
32 TB9.98 kg (22 lb)

パッケージ内容
レコーダー、ラックレール、フロントカバー、ゴム
脚、インストールガイド、電源コード、ネジ

オプションアクセサリー
AXIS TS3901 Rail Extensions
その他のアクセサリーについては、[axis.com/
products/axis-s4000](https://axis.com/products/axis-s4000)にアクセスしてください。

システムツール
AXIS Site Designer、AXIS Device Manager Extend、ブ
ロダクトセクター、アクセサリーセクター
axis.comで入手可能

言語
英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア
語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポ
ルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オラン
ダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、
トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証
5年保証、axis.com/warrantyを参照

ソフトウェアサポート
2028年まで新機能展開 (AXIS OS Active 12および13)
2033年12月31日までサポート (AXIS OS LTS 2028)
AXIS OSのライフサイクルについては、[help.axis.com/
axis-os](https://help.axis.com/axis-os)をご覧ください

製品番号
axis.com/products/axis-s4000#part-numbersで入手可
能

サステナビリティ

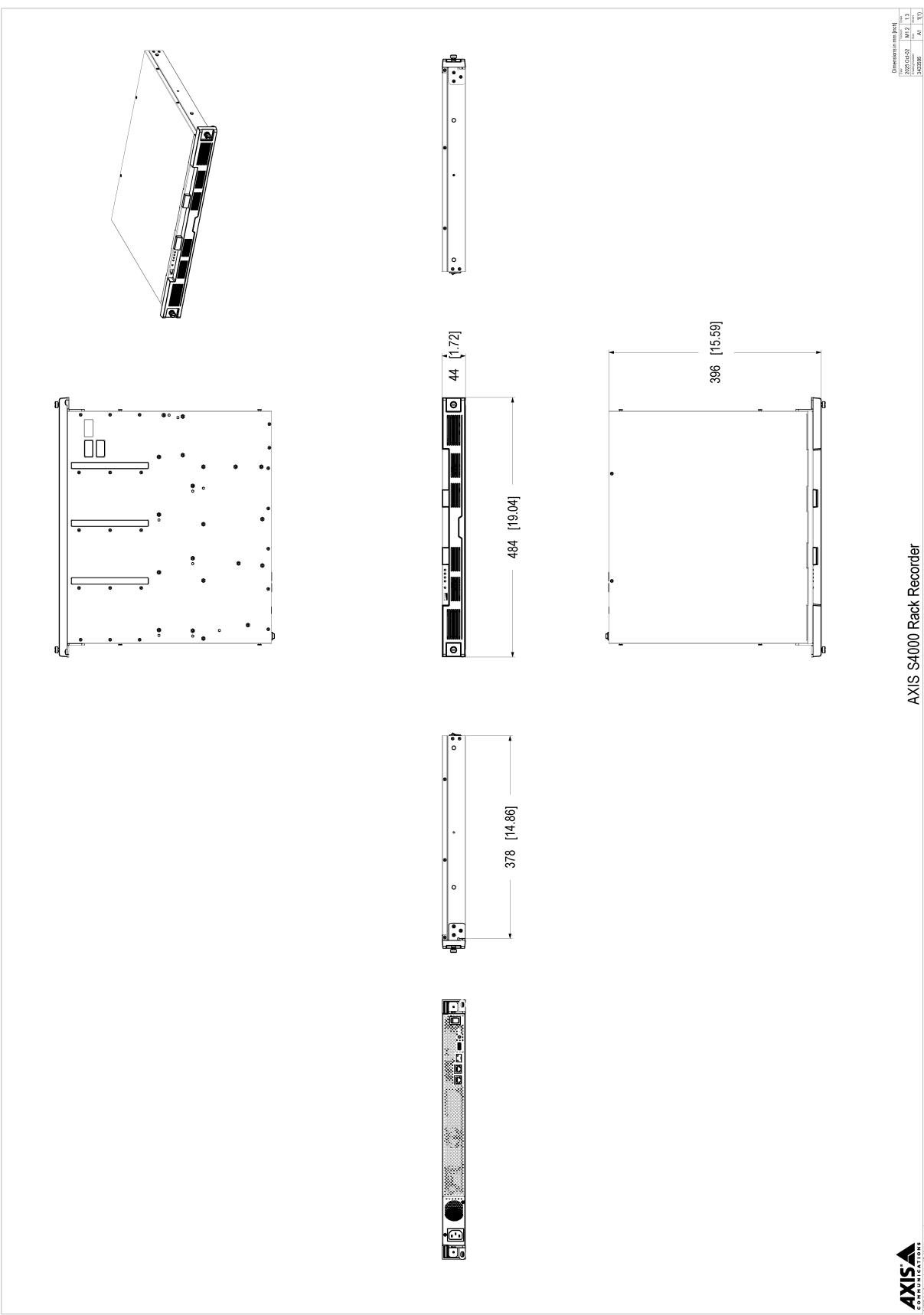
物質管理
PVC不使用、BFR/CFR不使用 (JEDEC/ECA標準JS709に
準拠)
RoHS (EU RoHS指令2011/65/EUおよびEN 63000:2018)
に準拠
REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについ
ては、echa.europa.euを参照

材料
再生可能な炭素系プラスチックの含有率:72% (再生プ
ラスチック)
OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済
み
Axisの持続可能性の詳細については、[axis.com/about-
axis/sustainability](https://axis.com/about-axis/sustainability)にアクセスしてください。

環境責任
axis.com/environmental-responsibility
Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企
業です (詳細についてはunglobalcompact.orgを参照)

3. フロントラックポストの外側の面からレールの端までを測定。
4. フロントラックポストの外側表面から製品背面までを測定。
5. 前面と背面のラックポストの外側に面する面間の許容距離

寸法図面



注目の機能

Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。たとえば、**セキュアブート**は、装置が**署名付きOS**でのみ起動できるようにするため、サプライチェーンにおける物理的な改ざんを防止することができます。署名付きOSの場合は、デバイスで新しいデバイスソフトウェアが検証されてからインストールが受け付けられるようになります。また、**セキュアキーストア**は、安全な通信で使用する暗号情報 (IEEE 802.1X、HTTPS、Axis装置ID、アクセスコントロールキーなど) を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアや安全な通信は、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。

Axis Edge Vaultの詳細については、axis.com/solutions/edge-vaultにアクセスしてください。

詳細については、axis.com/glossaryを参照してください。